

## 教科・領域【家庭】 科目【家庭総合】

|        |                    |    |      |     |     |
|--------|--------------------|----|------|-----|-----|
| 学科・コース | インテリア科・電子機械科・情報技術科 | 学年 | 第2学年 | 単位数 | 2単位 |
|--------|--------------------|----|------|-----|-----|

### 1 学習内容と学習到達目標

1. 人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を習得する。
2. 学習した知識や技術を生かし，家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育てる。
3. 家族や社会との共生を目指し，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

### 2 使用する主な教材等

- (1) 使用教科書（東京書籍「307」家庭総合 自立・共生・創造）
- (2) 配布資料プリント

### 3 年間の学習計画等

| 学期  | 学習内容  | 月  | 学習のねらい   | 備考   | 考查範囲                            |   |   |
|---|---|--|--|--|---------------------------------|---|---|
| 一<br>学<br>期                                     | オリエンテーション<br>家庭科の学び方，ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動，人生の主人公として生きる，キャリアを見つめる   | 4  | ・家庭科で何を学び，どのように学習活動をしていくのかを知る。<br>・ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動の意味と進め方，広げ方について理解する。<br>・家庭科の学習が，家族・社会との共生，生活の自立や創造につながることを理解し，学習に対する意欲を高める。 | ・ホームプロジェクトは常に意識させ，実施は長期休業中とする。<br><br>・キャリア教育と関連させる。<br>・第5，9章と関連させる。<br><br>・小中学校の学習内容と系統立てる。<br>・1日の摂取量を実物や見本で提示。<br>(年間6回の調理実習①回目)<br>・夏休み課題の確認 | 一<br>学<br>期<br>期<br>末<br>考<br>査 |   |   |
|   | 第1章 自分らしい人生をつくる   | 5  | ・各ライフステージごとの特徴，課題を理解する。また，生涯発達の観点から，自分を客観的に見つめ，意思決定の大切さを理解する。  |  |                                 |   |   |
|   | 1 生涯発達の視点   |  | 6  |  |                                 | ・男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会的背景について理解し，男女が協力して家庭を築くことの重要性を考える。<br>・家族の抱える課題を理解する。また，基礎的な法律を知り，現在の動きを把握する。              |   |
|   | 2 青年期の課題  |  |  |  |                                 | 7   | ・家事労働と職業労働について知り，ワークライフ・バランスについて考える。  |
|   | 3 目標を持って生きる   |  |  |  |                                 |   | ・栄養や調理を科学的に理解し，食生活の問題点に気付くと共に，生涯を健康に過ごす為の基本について考える。<br>・日本や地域の食文化を見直し，継承について考える。<br>・主体的に食生活を営むために必要な調理技術を習得する。 |
|   | 4 人生をつくる  | 6  | ・家事労働と職業労働について知り，ワークライフ・バランスについて考える。   |  |                                 |   |   |
|   | 5 家族・家庭を見つめる  |  | 7  |  |                                 | ・栄養や調理を科学的に理解し，食生活の問題点に気付くと共に，生涯を健康に過ごす為の基本について考える。<br>・日本や地域の食文化を見直し，継承について考える。<br>・主体的に食生活を営むために必要な調理技術を習得する。 |   |
|   | 6 これからの家庭生活と社会  |  |  |  |                                 | ・家事労働と職業労働について知り，ワークライフ・バランスについて考える。  |   |
|   | 第6章 食生活をつくる   | 7  | ・栄養や調理を科学的に理解し，食生活の問題点に気付くと共に，生涯を健康に過ごす為の基本について考える。<br>・日本や地域の食文化を見直し，継承について考える。<br>・主体的に食生活を営むために必要な調理技術を習得する。                    |  |                                 |   |   |
|   | 1 食生活をつくる   |  | 7  |  |                                 | ・栄養や調理を科学的に理解し，食生活の問題点に気付くと共に，生涯を健康に過ごす為の基本について考える。<br>・日本や地域の食文化を見直し，継承について考える。<br>・主体的に食生活を営むために必要な調理技術を習得する。 |   |
| 1 食生活の課題について考える                                 | ・栄養や調理を科学的に理解し，食生活の問題点に気付くと共に，生涯を健康に過ごす為の基本について考える。<br>・日本や地域の食文化を見直し，継承について考える。<br>・主体的に食生活を営むために必要な調理技術を習得する。 |  |  |  |                                 |   |   |
| 6 食生活の文化と知恵                                     | 7   | ・日本や地域の食文化を見直し，継承について考える。<br>・主体的に食生活を営むために必要な調理技術を習得する。 |  |  |                                 |   |   |
| 2 食事と栄養・食品                                      |   | ・日本や地域の食文化を見直し，継承について考える。<br>・主体的に食生活を営むために必要な調理技術を習得する。 |  |  |                                 |   |   |
| 5 調理の基礎   | 7   | ・主体的に食生活を営むために必要な調理技術を習得する。                              |  |  |                                 |   |   |
| 《課題・提出物等》<br>学習プリント，視聴覚教材視聴の感想                  |   |  |  |  |                                 |   |   |
| 《1学期の学習状況の評価方法》<br>提出物とその内容，小テストや定期考査の取り組み，授業態度 |   |  |  |  |                                 |   |   |

| 学期  | 学習内容   | 月  | 学習のねらい  | 備考                            | 考查範囲                            |
|---|--|----|---|-------------------------------|---------------------------------|
| 二<br>学<br>期   | ○ホームプロジェクトの発表  | 9  | ・発表を通して、生活課題を発見する視点や解決するための方法について理解を深める。              | ・発表形式を工夫する。                   | 二<br>学<br>期<br>期<br>末<br>考<br>査 |
|   | 3 食生活の安全と衛生  |    | ・環境に配慮した食生活, 食料生産や食料問題, 食の安全など課題について考える。              | ・食育を発展させる。                    |                                 |
|   | 4 生涯の健康を見通した食事計画                                       | 10 | ・青年期の食事の重要性を理解し, 各ライフステージの栄養的特徴を知る。                   | ・調理実習②～⑤                      |                                 |
|   | 7 これからの食生活   |    | ・生涯を通じて健康で安全な食生活営む力を身につける。                            | ・食品添加物の実験                     |                                 |
|   | 8章 住生活をつくる   |    | ・住居の機能, 住空間の計画, 住環境の整備                                | ・家族の献立作成                      |                                 |
|   | 1 住生活について考える   | 11 | などについて科学的に理解し, ライフステージにあった住まいの工夫を考える。                 | ・広告やインターネット等の活用。              |                                 |
|   | 2 住生活の計画と選択  |    | ・室内外の環境に着目し, 安全性や快適性を考慮する必要性を理解する。                    | ・居住地や地域活動への関心を高める。            |                                 |
|   | 3 住生活の文化と知恵  | 12 | ・住生活の文化について関心を高め, 住まいの変遷, 生活様式などを理解する。                | ・ビデオ教材を活用し住まいに対する関心を高める。      |                                 |
|   | 4 これからの住生活   |    | ・地域社会とのつながりの重要性と持続可能な住生活について考える。                      |                               |                                 |
|   | 《課題・提出物等》<br>ホームプロジェクト, 学習プリント, 調理実習記録プリント, 視聴覚教材視聴の感想 |    |   |                               |                                 |
| 《2学期の学習状況の評価方法》<br>提出物とその内容, 小テストや定期考査の取り組み, 授業・実習への意欲や態度, 技術の習得度   |  |    |   |                               |                                 |
| 三<br>学<br>期   | 3章 高齢社会を生きる  |    | ・高齢社会の現状と課題について考える。                                   | ・地域の高齢者福祉サービス内容を調べ, 学習の発展を図る。 | 学<br>年<br>末<br>考<br>査           |
|   | 1 高齢期を理解する   | 1  | ・高齢者の心身の特徴を理解する。                                      | ・ビデオ教材を活用し, 関心を高める。           |                                 |
|   | 2 高齢者の心身の特徴  |    | ・高齢者を支援する方法をや, 介護保険制度のしくみやサービスの内容, 地域間での助け合いの活動を理解する。 | ・介助体験実習, 高齢者体験実習              |                                 |
|   | 3 高齢者を支える  | 2  | ・高齢者に関する福祉, 制度と課題について考える。                             |                               |                                 |
|   | 4 これからの高齢社会  |    | ・社会保障制度の理念や社会福祉について理解する。また, 一生を通じた福祉や社会的支援の必要性を知る。    |                               |                                 |
|   | 4章 共に生き, 共に支える   | 3  | ・ノーマライゼーション, ユニバーサルデザインの理念を理解する。                      |                               |                                 |
|   | 1 私たちの生活と福祉  |    | ・地域の防災力を高める意義を考える。                                    |                               |                                 |
|   | 2 社会保障の考え方   |    |   |                               |                                 |
|   | 3 共に生きる  |    |   |                               |                                 |
|   | 誰もが暮らしやすい社会を目指して<br>ユニバーサルデザイン<br>地域の防災力を高めよう          |    |   |                               |                                 |
| 《課題・提出物等》<br>学習プリント, 視聴覚教材視聴の感想   |  |    |   |                               |                                 |
| 《3学期の学習状況の評価方法》<br>提出物とその内容, 小テストや定期考査の取り組み, 授業・実習への意欲や態度<br>1～3学期を通して, 授業・実習への取り組み状況から意欲と関心など総合的に評価する。   |  |    |   |                               |                                 |
| 《年間の学習状況の評価方法》<br>・家庭や地域の生活を充実向上させるための課題解決学習にどのように取り組んだか。ホームプロジェクトの内容や提出物の状況からその意欲や関心の程度を評価する。<br>・知識や技術を自分のものとして習得したかを実技や定期考査で確認する。<br>・1～3学期を通して, 授業・実習への取り組み状況から意欲と関心など総合的に評価する。 |  |    |   |                               |                                 |

